

河合千枝子

前向きな噂話が 広がる場所に

No.60



最近「コミュニケーションカフェ」という言葉をよく耳にする。営利を求めただけではなく、地域のひととをつなぐ場所として、今注目されている。

そのコミュニケーションカフェを小矢部にオープンさせようとしているのが今回紹介する河合千枝子さん。

「小矢部にカフェが無いな」と思っていた。皆が集まって話ができる場所を私が提供したい。」

「昨年の春に定年を迎えた。今まで貯めたお金で、仕事を通してお世話に

なった地域の人たちに恩返しをしたい。そこで、地域のひとと人が繋がることのできるカフェを運営したいと思うようになったという。

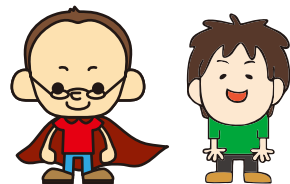
「会社にきても一言も話さずに帰る人がいて、そういう人に『おはよう』『ご苦労さま』と挨拶をしたり、元気が無い人には声をかける、そういうことを今まで自分のモットーとしてきた。」

「自分のカフェでもそういうことを心掛けていきたいし、していきたいと思っている。」

この街で頑張る人、会社、団体を「人と人のつながり」で紹介していきます。

人が集まる場所にした」と話す河合さんも、つい最近までは「コミュニケーションカフェ」の存在は知らなかった。「コミュニケーションカフェを運営するからには、そこにいけば誰かと話ができる場所にするだけでなく、ここから何を与えるか、どうきつかけを作ることができるか、『地域のひとと人がつながること』が大切になってくる。きちんと運営できている所はターゲットがしつかりしている。

「小矢部でもたくさんイベントが行われている、人が集まれる場所もある。だけど、これらの情報を知らないのである場所が無い。」



「後向きな話ではなく、前向きな噂話が広がる場所にしたい。」

「カフエに来てくれる人にも、小矢部はいい街だと思ってもらえるようにしたい。」

「人との出会い・つながりを大切にし、笑顔を提供したいと考えている河合さん。」

「仕事の帰り道、自宅がある稲葉山に向かって車を走らせながら『稲葉山は綺麗、素敵』と思っっていた。」

「また、小矢部市でカフェを運営するからには、この街のことも好きになつてもらいたい」と河合さんは言う。

「やってみないと分からないけれど、運営していく中でターゲットをしぼっていったらいいな。」

小矢部市のイベント情報、頑張っている人がカフェにいけば分かり、繋がることのできる。北陸の十字路である小矢部市だからこそできるカタチがそこには見える。

「マザー型カフェなら私にもできるかも。」

「やってみないと分からないけれど、運営していく中でターゲットをしぼっていったらいいな。」

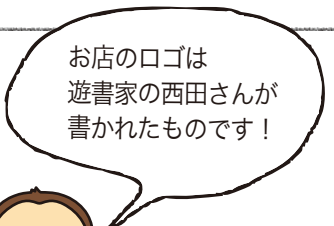


喫茶ふうしゃ (6月オープン予定)

〒932-0051
小矢部市今石動町2丁目7の33
TEL (0766) 67-2086

富山県内のコミュニケーションカフェにはセミナーが受講できる、ボランティア活動の拠点、悩み相談など本当に様々なタイプのものがある。それら全てに共通して言えることは、人と人がつながること、それがきっかけになり、新しい一歩を踏み出す勇気をもたらえる場所であるということだ。

人との出会いを大切にしている河合さんが運営するカフェもきつとたくさんある。新しい一歩が生まれそうである。カフェの名前は「ふうしゃ」。大好きな稲葉山が由来している。6月のオープンが今から楽しみだ。



店長の一言

小矢部市シンボルキャラクター「メルギョーくん」グッズの販売
地元のお店紹介・特産品のプレゼント企画を随時開催

Oyabe Local SHOP

旅行のツイッター・利用
プレゼントをらぶらぶら!

<http://www.startaro.com/shop/>

小矢部のひとと人、人と企業、企業と企業の架け橋
北陸の十字路からの情報発信システム

Oyabe Local SNS

登録無料!小矢部の最新情報をGET!!

<http://sns.startaro.com/>

口コミ情報、おもしろ情報を集めたメルマガ
「ありがとうプロジェクト」スタートしています

Oyabe Local Mail

前かがみ営業的
大分読者増中!!

<http://oyabelocalmail.blog27.fc2.com/>